

【評価実施概要】

事業所番号	2771200330
法人名	社会福祉法人 永楽福祉会
事業所名	グループホーム永楽
所在地	大阪府泉南郡熊取町野田3丁目2069番地の2 (電話) 072-451-2802
評価機関名	NPO法人カリア
所在地	大阪府天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル
訪問調査日	平成19年6月19日

【情報提供票より (19年5月20日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 1 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	10 人 常勤6 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 8.0

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート
	3階建て 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) ○ 無	有りの場合 償却の有無	有 / ○ 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,320 円			

(4) 利用者の概要 (5月 20日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1		要介護2		4	
要介護3	3	要介護4		2	
要介護5		要支援2			
年齢	平均 88 歳	最低 82 歳	最高 93 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	特定医療法人三和会 永山病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

永楽福祉会は、特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイサービスセンター、在宅介護支援センター等も運営されています。病院と老人保健施設を運営する医療法人とも連携されています。施設は、和泉山脈の山並みや熊取町を一望することができる見晴らしのよい高台の住宅街に建てられ、四季の景色を満喫しながら過ごすことができます。玄関先には季節の花が植えられ、中に入ると廊下は広く明るく通気がよく、くつろぎのスペースもあり、居心地のよさが感じられました。日常生活の中で、入居者本位の自立支援に向けたケアが確保され、利用者の方に寄り添った援助されているのが、一人ひとりの表情によく出ていました。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 評価で明らかになった課題は、職員間で話し合い、常に改善に向け、利用者が快適に過ごせるように努力されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価は、職員全員で取り組み、総施設長にも検証していただいたことです。また、自己評価の作業の中で、自己評価の課題について考え、今後も、利用者と地域とのつきあいの中で、利用者が地域に向いて行き、地域との関わりを深めていこうと、改善計画を立てられています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議を2ヶ月毎に開催し、必ず報告及び意見聴取を行って、利用者の生活に役立つよう取り組んでいます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 玄関には苦情受付箱を設置。年一回の家族会を設け、意見を出せるような仕組みをつくっています。意見、要望は職員間で話し合いの場を持ち、振り返り、ホーム内で反映させています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常的に孤立しないように、買い物、散歩に出かけ、地域の中で何らかの関わりをもつよう努めている姿勢が伺えました。地域行事には利用者と共に積極的に参加されているようです。今後地域の方と一緒に、公園の掃除、花の植え替えなどにも参加していき接点を持っていこうと努力されています。

2. 調 査 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念として「安らぎと生きがいのある暮らしをしていただけるよう、一人ひとりに合った心のこもったやさしいサービスを目指します。」を掲げ、同時にグループホームとしても4項目の目標を掲げています。	無	
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングで確認し、職員全員が周知できる職員室の目につく位置に掲示されています。意識して行動できるよう理念の唱和をおこない、名札の裏側に印刷し、常時分かるようにしています。	無	
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	熊取町の行事には利用者とともに参加しています。ともに暮らす地域住民の一員として、公園の掃除、お花の植え替え等に今後も関わり積極的に交流を図っていかれます。	無	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	以前の記録からも、外部評価でのアドバイスを謙虚に受け止めて、利用者の生活に活用されています。	無	

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開くことで、施設への理解を深めており地域住民の一員として、出来ることへの具体策を意見として頂き、取り組んでいます。	無	
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域ケア会議や、ケアマネ連絡会に参加し、意見交換を行い、質の向上に向け連携を図っています	無	
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時は必ず、利用者の状況など詳しく伝え、面会の少ない家族には電話で、年4回預り金報告書にサインをもらっており出納帳の開示をされています。	○	グループホーム永楽独自の新聞を作り、ご家族との連携を密にしていける取り組みを考慮されています。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年一回家族会を開き、家族同士の集まりで意見を出していただき、要望など職員間で話し合い反映されています。玄関には苦情受け付け箱を設置されています。	無	
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員移動は少なく、退職時は自然な流れに任せています。新しい職員の場合は紹介を行い、十分な意思疎通を図り安心していただいています。	無	

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修が行われており参加をされています。相互研修等も自ら研修事業所を選択でき、報告とファイリングもされています。	無	
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互研修制度を利用し、自らも事業所を選択し研修出来るシステムが出来ています。他事業所からの研修受け入れもあり、交流を通して自らのケアを省み、質を向上させていく取り組みがなされています。	無	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービスを利用したり、おやつ作りなどに参加されていました。又、ご利用一ヶ月と云うご利用者についても家族と相談しながら、趣味を取り入れた外出支援を行い、安心感を持ってホームで過ごせるように取り組まれています。	無	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	習字、絵手紙など、利用者の方の趣味を共に学び、職員が一步後に引いて、ケアしすぎない姿勢、利用者同士がお互いに助け合っている生活ぶりが見受けられました。	無	

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	趣味など活かして好きなことをしながら、日常の生活の中での会話、表情などで汲み取るように努めています。困難な場合には本人とよく話し合ったり家族の方とも相談されています。	無	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の方が今まで培ってきた生活を、継続できるように、本人、家族、職員間で話し合い個別の介護計画が立てられています。	無	
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人や家族の要望を考慮しつつ、三ヶ月毎に見直されています。状態に変化あった場合、その都度、本人、家族、職員との話し合いのもと、現状に応じた計画が立てられています。	無	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	歯科受診など家族の都合の悪い時などは、職員が送迎するなどその時々々に必要な支援を行っています。	無	

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、必ずかかりつけ医の確認がされています。協力病院との連携もとられています。入居前のかかりつけ医に受診できる体制もとられています。週一の割で協力病院より往診に来てくれています。	無	
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時、終末のあり方については本人を交え家族とよく話し合い、事業所が対応し得る最大の支援をされています。同時に同意書に署名、捺印をもらっています。終末ケアのマニュアルも作成されています。	無	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ご利用者に接する姿勢も柔らかく、プライバシーを損ねるような言葉かけをされていません。又、定期的な会議を利用して研修も行われています。	無	
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるものの、ご本人の意思が尊重されていることが、本日の催し物状況や利用者の顔や表情から伺えます。	無	

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	片付け等する人、しない人はいるものの、それぞれの役割が出来ています。食後のお茶の接待を自然な形で、ご利用者から受けたことから支援が出来ている様子が見てとれました。	○	食事は殆ど母体の施設から調理されているようですが、利用者の方と職員と一緒に好きな物を作る日も検討されてはいかがでしょうか。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の順番や方法（一般浴、シャワー浴）を聞き、楽しい入浴になるようペースを合わせ臨機応変に対応されています。	無	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の趣味等を大切に日常生活に活かされています。得意分野を楽しみながらアドバイスをお願いし、生活に張りを持って過ごせるよう支援を行っています。	無	
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	畑に出かけたり、日常的に散歩などにも行かれています。本人の希望に応じて買い物等の支援も行われています。	無	
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関等には鍵をかけずに開放されています。窓や出入り口は安全面に配慮した上で、季節を感じさせる網戸やよしずを利用し、自由な暮らしを支援されています。	無	

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に訓練が実地されており、マニュアルも整備出来ています。又、事業所間の支援体制も確立されています。(地域で火災があり職員が応援されていたことがあったようです。)	無	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食栄養価の計算がされ、食事量、水分摂取状況を毎回チェックし記録に残しています。又、水分摂取量を確保するため入所前の馴染みのものに工夫をこらし提供されています。	無	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音や光を和らげる工夫をカーテンや季節感のあるすだれを利用して行っています。又、浴室は明るく大きな窓が取っており、プライバシーにも配慮されています。	無	
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の生活様式に合った使い方をされており、趣味を活かした生け花など置かれています。本人のこだわりを大切に家具や備品の配置を職員共通の物とし、きめ細やかな配慮が行われています。	無	

※ は、重点項目。